

コード	40105
作成年度	26年度

基本事業評価表

基本事業名称	水産加工業の推進
--------	----------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	水産業の振興

課コード	116	関係課名
主管課名	水産課	

基本事業の目的

新鮮な魚介類などを用いた特産品づくりやブランド化のための調査及び研究開発、起業家の支援を行なうことにより、水産加工業の推進を図ることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	水産加工・鮮魚のブランド化	成果指標名称 2	販売額
成果指標の積算根拠	ブランド化数÷目標数値	成果指標の積算根拠	販売額÷目標数値
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	10件	目標達成数値	26,000千円

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	品目	5	5	8	10	10
	実績 B		品目	4	8	7	7	-
	達成率 B/A		%	80.0	160.0	87.5	70.0	
成果指標 2	目標 A	単位	千円	21,000	21,000	26,000	26,000	26,000
	実績 B		千円	11,862	49,736	71,386	71,256	-
	達成率 B/A		%	56.0	237.0	274.6	274.1	

1次評価	現状	平成25年度に新たに認定された商品はなかったが、現在7品目が「平成長崎俵物」として認定されている。その他上五島漁協の「五島箱入娘」や神部漁協の「まる神ブリ」など、鮮魚のブランド化に取り組んでいる。また、加工場の衛生管理強化のための改良や省力化、県外での販路開拓やチラシ作成等を実施している。
	課題	トビウオや水イカ（アオリイカ）などの加工原料の確保が自然条件に左右されること、生産者の販売力に差があり、消費者のニーズに沿った生産・出荷体制が図られるかが課題である。
	改善	町のブランドとして、広く消費者のニーズに沿った原材料の確保や販売を展開していけるような支援体制を整え、事業者との協同での調査・開発に努める必要がある。
2次評価	独自性や特徴のある製品づくりを行っていくため、新たな特産品づくりやブランド化を進め、水産加工品の価値を高めるとともに、消費者のニーズ、流通コスト支援など、安定的な供給ができるように取り組んでいくこと。	
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	401050401	「売り出せ！水産ながさき」販路拡 大事業	水産課	384千円	(途中) このまま事業を継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				384千円	